

帰還事業 60 年、北朝鮮の人権実態に関する日韓合同セミナーのご案内

60 年前、1959 年 12 月に、在日朝鮮人、日本人配偶者を乗せた船が北朝鮮に向けて出港しました。北朝鮮と朝鮮総連の手で 9 万 3000 人が「地上の楽園」の宣伝に乗って朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を目指し、この事業は北朝鮮と朝鮮総連が主導して行われ、国際赤十字、日本赤十字の関与と日本政府の側面支援ですすめられた「帰還（北送）事業」でした。日本人配偶者、未成年 6839 人が北朝鮮に送られました。

彼らはその後、北朝鮮において、厳しい差別と迫害の中で苦しみ、多くの人命が失われたと言われています。現在、脱北者として、中国、韓国、日本に逃れた北朝鮮難民の中には、帰還事業で北朝鮮に渡った人々やその家族が多く含まれています。帰還事業 60 年にあたる今年、こうした歴史のはざま、深刻な人権侵害に苦しみながらも、今を精一杯生きている人々に焦点をあて、その実態を検証する節目の年でもあります。

この度、韓国の国会議員ならびに人権 NGO から、日韓合同で、この問題について日本で合同セミナーを開催し、問題解決の糸口を話し合う機会を持つという提案がありました。この機会に、拉致問題を含め、北朝鮮の人権侵害を和平交渉のテーブルに、日韓共通の問題として取り上げるべきだとアピールするきっかけにもしたいと思います。日韓の人権 NGO が共催し、別記（裏面）の内容にて企画いたしました。多くの国会議員の皆様のご参加を期待いたします。

2019 年 11 月吉日

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会（日本）

北朝鮮難民救援基金（日本）

NO FENCE（日本）

ムルマンチョ（韓国）

国会人権フォーラム（韓国）

IPCNR 北朝鮮の難民と人権に関する国際議員連盟

共同議長：洪日杓（韓国）、中川正春（日本）

※準備の都合上、ご出席いただける方は裏面にご記入いただき、ご返送ください

帰還事業 60 年、北朝鮮の人権実態に関する日韓合同セミナー

日 時 : 12月13日(金) 14:00～

場 所 : 衆議院第1議員会館 1F 多目的ホール

<プログラム概要>

14:00 開会 NGO主催者挨拶 司会者、通訳者紹介

14:05 挨拶 韓国側 キム・ソクウ(前統一次官、現21世紀国家発展研究院院長)

祝辞 黄祐呂(ファン・ウヨ)前・韓国国会議員、前 IPCNKR 共同代表

参加国会議員 紹介&挨拶

15:00 報告

①朝鮮総連、帰還(北送)の過程、実態

山田文明(北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名誉代表)

金 石香(キム・ソクヒャン 梨花女子大教授)

②北朝鮮へ帰還し、脱北後日本に定住した人の証言

木下公勝(北帰国者の生命と人権を守る会副代表)

金 順姫(脱北者)

16:20 討論 加藤博(北朝鮮難民救援基金理事)、韓国側 未定

16:40 フロアからの質疑

16:50 会議の総括 朴宣映(パク・ソニョン 東国大学教授、憲法学者)

17:10 閉会の辞 小川晴久(NO FENCE 代表)

17:30 ムルマンチョ(脱北者の合唱団)公演

18:00 交流・夕食会

※準備の都合上、ご出席いただける方は下記にご記入いただき、ご返送下さい

参加者ご芳名

連絡先電話/E-mail

	本人出席	代理出席
セミナー 14:00～17:30		
公演 17:30～17:50		
夕食・交流会 18:00～		

返信先 Tel/FAX 0 3 - 3 8 1 5 - 8 1 2 7 (北朝鮮難民救援基金)

-